令和元年

全国 一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Japan

2019

令和元年水質調査結果
感覚的な水質指標による調査結果
水質事故等の状況

特集

日本一の清流黒部川の扇状地が育む“清水（しょうず）”

「日本の清流」
宮川（ミヤガワ）［中部地方］

「水質改善と観光振興」
大淀川（オオヨドガワ）［九州地方］

「水質だより」
常呂川（トコロガワ）［北海道地方］

MLIT Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

表紙写真「黒部川と立山連峰」【写真提供：黒部河川事務所】

国土交通省
水管理・国土保全局

CONTENTS

DATA

令和元年水質調査結果

科学的調査

03 DATA 水質が最も良好な河川 2019
04 DATA 水質が最も良好な河川 2010-2019
05 DATA 過去 10 年間の水質改善状況
06 DATA 環境基準（BOD 等）の満足状況

感覚的な水質指標による調査結果

感覚的調査

08 DATA 泳ぎたいと思うきれいな川
09 DATA 感覚的な水質指標による調査参加者数
10 DATA 参加者数 BEST5 地点の紹介

水質事故等の状況

水質事故調査

11 DATA 水質事故等の状況

特集

13 日本一の清流黒部川（クロベガワ）の扇状地が育む“清水（しょうず）”

Column

15 「日本の清流」 [中部地方] 宮川（ミヤガワ）

16 「水質改善と観光振興」 [九州地方] 大淀川（オオヨドガワ）

17 「水質だより」 [北海道地方] 常呂川（トコロガワ）

18 水難事故防止 ライジャケ・オン！

【科学的調査】 河川の汚濁状況等を科学的手法で行う調査
【感覚的調査】 ゴミの量や水のにおいなどを人の諸感覚を用いて行う調査

科学的調査

令和元年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位（1 月～ 12 月）でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ ℓを超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27%を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、大量のアユが毎年遡上するまでになっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ ℓを超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、令和元年の代表地点の BOD75% 値が 1.9mg/ ℓとなり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。

水質が最も良好な河川 2019

令和元年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			調査地点の都道府県名
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	（後志利別川水系）	北海道
東北	荒川	アラカワ	（阿武隈川水系）	福島県
東北	鮭川	サケガワ	（最上川水系）	山形県
北陸	黒部川 特集に掲載 P13	クロベガワ	（黒部川水系）	富山県
北陸 NEW	常願寺川	ジョウガンジガワ	（常願寺川水系）	富山県
中部	宮川 コラムに掲載 P15	ミヤガワ	（宮川水系）	三重県
近畿	熊野川	クマノガワ	（新宮川水系）	和歌山県
中国	小鴨川	オガモガワ	（天神川水系）	鳥取県
中国	高津川	タカツガワ	（高津川水系）	島根県
四国 NEW	四万十川	シマントガワ	（渡川水系）	高知県
四国	仁淀川	ニヨドガワ	（仁淀川水系）	高知県
九州	厳木川	キュウラギガワ	（松浦川水系）	佐賀県
九州	川辺川	カワベガワ	（球磨川水系）	熊本県
九州	本庄川	ホンジョウガワ	（大淀川水系）	宮崎県
九州	小丸川	オマルガワ	（小丸川水系）	宮崎県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	（五ヶ瀬川水系）	宮崎県

NEW：　過去 10 年ではじめて「水質が最も良好な河川」となった河川

【「水質が最も良好な河川」の定義】

対象河川である 163 河川のうち、以下の両方を満たす河川。

- 対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ※1
- 対象河川の各調査地点の BOD75% 値※2 について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ

※1：環境省の定める BOD の報告下限値（0.5 mg/ℓ）
※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75 ×データ数番目（整数ではない場合は切り上げ）の値（例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて 0.75 × 12 ＝ 9 番目の値が 75% 値となります。）

＜対象河川＞
- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

科学的調査

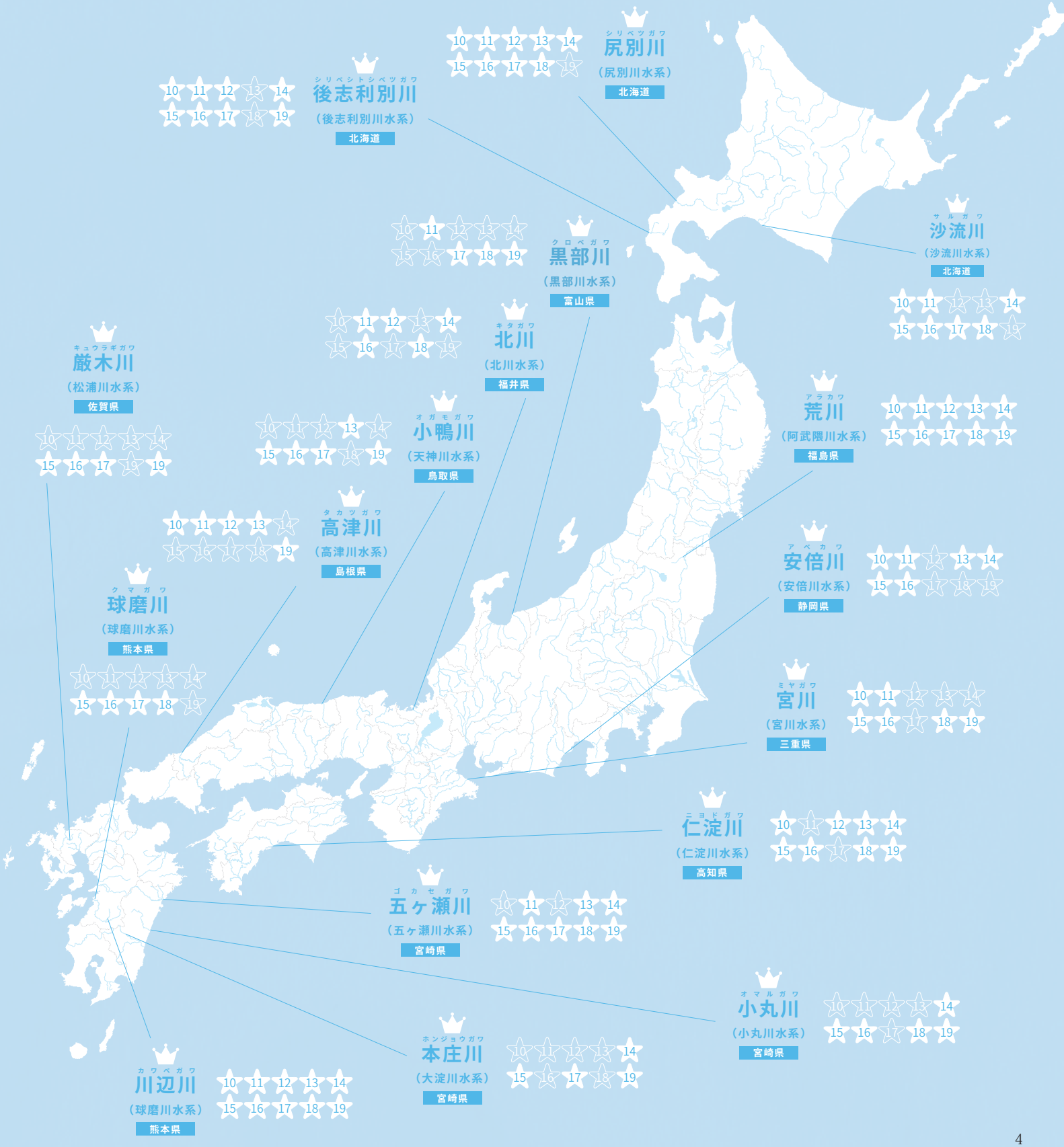
水質が最も良好な河川
2010 - 2019

平成 22- 令和元年水質調査結果

2010-2019 年（平成 22- 令和元年）の 10 年で、
4 回以上「水質が最も良好な河川」となった河川（17 河川）を紹介します

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
（西暦下 2 桁）

10 11 12 13 14
15 16 17 18 19



科学的調査

TOP 5

過去 10 年間の水質改善状況

過去 10 年間に BOD 値が大幅に改善されている地点は以下のとおりです。

BOD 平均値の改善幅による過去 10 年間の水質改善状況

順位	地方名／地点名（水系名河川名）		平成 21 年 BOD 年間平均値（mg/ℓ）	令和元年 BOD 年間平均値（mg/ℓ）	水質改善幅（mg/ℓ）
1	近畿／利倉（トクラ）	（淀川水系猪名川（イナガワ））	7.9	2.7	5.2
2	中部／勢田大橋（セタオオハシ）	（宮川水系勢田川（セタガワ））	8.0	3.2	4.8
3	関東／運河（ウンガ）（合流前（ゴウリュウマエ））	（利根川水系利根運河（トネウンガ））	8.7	4.8	3.9
4	中国／中須（ナカス）	（芦田川水系砂川（スナガワ））	4.7	1.8	2.9
5	近畿／中野橋（ナカノバシ）	（淀川水系山科川（ヤマシナガワ））	4.7	1.9	2.8
	中国／小水呑橋（コミノミバシ）	（芦田川水系芦田川（アシダガワ））	6.1	3.3	2.8

令和元年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）と、平成 21 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）から、10 年間の直轄管理区間の水質改善幅による地点の水質改善状況を比較すると、上記上位 6 地点で大幅な水質改善が進んでいます。

また、上記上位 6 地点以外にも、様々な取組み等により、全国的にきれいな川、生物が生息しやすい川などをめざして水質や水環境の改善が多面的に取り組まれています。

こうした水質を改善する取組みを地域づくりや観光振興とあわせて実施している河川として、大淀川（九州地方）の事例を掲載（p16）しています。

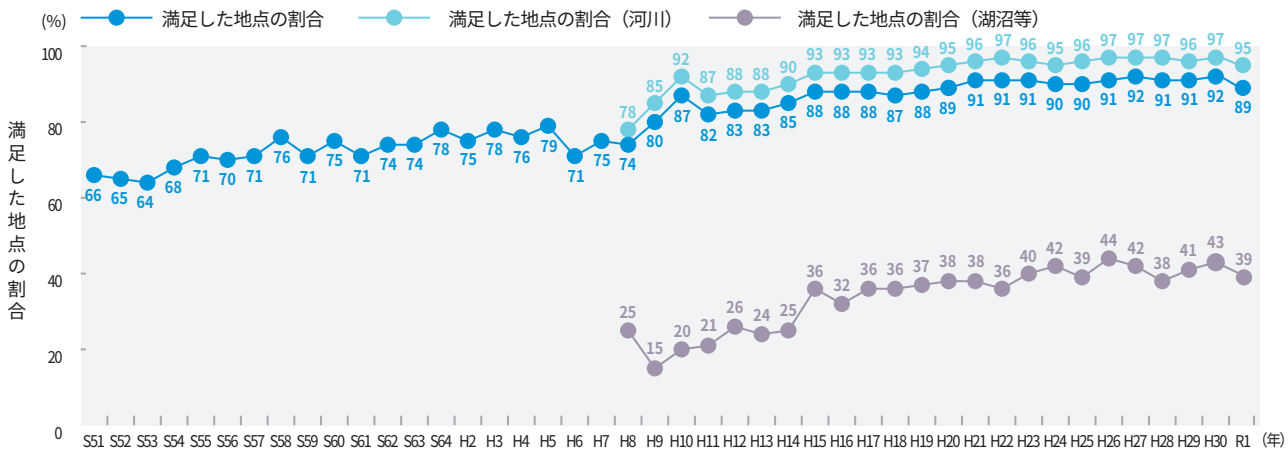
科学的調査

89%

環境基準（BOD 等）の満足状況

BOD※1（または COD※2）値が環境基準を満足した地点の割合は 89%でした。

【生活環境の保全に関する環境基準】



一級河川（湖沼及び海域を含む）において環境基準を満足した地点の割合

令和元年に、一級河川（湖沼及び海域を含む。）の直轄管理区間において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD（生物化学的酸素要求量）または、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足した地点の割合は 89%（881 地点 /990 地点）で、依然として高い割合を維持しています。

なお、令和元年に BOD（または COD）値が環境基準を満足した地点の割合について、地点の種類別に見ると、河川のみでは 95%（842 地点 /890 地点）、湖沼等（海域含む）※3 では 39%（39 地点 /100 地点）でした。

※1　BOD（生物化学的酸素要求量）：　河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素量のことで、BOD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※2　COD（化学的酸素要求量）：　湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、COD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※3　河川・湖沼別の環境基準を満足した地点の割合は平成 8 年より整理（平成 26 年以降は海域も含む）

【ダイオキシン類】

令和元年度における、ダイオキシン類が水質環境基準を満足した地点の割合は 98%（201 地点 /206 地点）でした。

【人の健康の保護に関する環境基準】

令和元年における、直轄管理区間の健康項目全体の環境基準を満足した割合は 99%（前年 99%）となっており、ほとんどの地点で環境基準を満足しました。

感覚的調査

感覚的な水質指標による調査結果

**国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民と河川管理者との協働で実施しています。
普段親しんでいる身近な川で、ゴミの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。**

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について（案）」を平成 17 年 3 月にとりまとめました注 1)。このうち、「感覚的な水質指標注 2)」による調査では、調査の一部を住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施しており、普段親しんでいる身近な川で、ゴミの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています注 3)。住民との協働による水質調査は、住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとしています。

注 1　平成 21 年 3 月に一部改訂し、平成 21 年度の調査より適用しています。
注 2　「今後の河川水質管理の指標」のうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」に関する調査では、ゴミの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価する項目が含まれていることから、「感覚的な水質指標」として紹介しています。
注 3　評価項目ごとに A ～ D ランクの 4 段階の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとし、1 年間の調査時の総合評価ランクのうち最頻出ランクを、その地点における年間の総合評価ランクとします。最頻出ランクが 2 つ以上ある場合は、低い方のランクを年間の総合評価ランクとします。

「感覚的な水質指標」では、調査を実施した水系のうち、ほとんどの水系で住民との協働調査を実施しています。住民との協働調査を実施している調査地点数は、174 地点（全国 290 地点）です。

**感覚的な水質指標（河川）による
年間の総合評価ランク別の地点数**

ランク	地点数（カッコ内の数字は住民が参加した地点数）	割合
A ランク	84（43）	29%
B ランク	116（77）	40%
C ランク	83（49）	29%
D ランク	7（5）	2%
計	290（174）	100%

泳ぎたいと思うきれいな川

感覚的調査

Aランク

84

地点

※ 図中の緑の丸は、年間の総合評価ランクがAランクの地点です。
※ 各調査地点で地元市民・児童・生徒などの有志によって、実際に川の水に対して感じた結果に基づいたものであり、必ずしも客観性に配慮したデータではありません。
※ あくまでも水質に関係する指標により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していません。
※ 水浴場水質判定基準（環境省）における油膜の有無やCOD等の評価項目、その他の有害物質等による評価は行っていません。

調査結果

令和元年は、84地点が「Aランク（泳ぎたいと思うきれいな川）」と評価されました。

住民との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル 全国共通項目 ゴミの量	透視度（cm）	川底の感触	水のにおい	糞便性大腸菌群数（個/100mℓ）	地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
A	顔を川の水につけやすい（泳ぎたいと思うきれいな川）		川の中や水際にゴミは見あたらない。または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	100以下	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない		1000以下	
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの	
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる		

感覚的調査

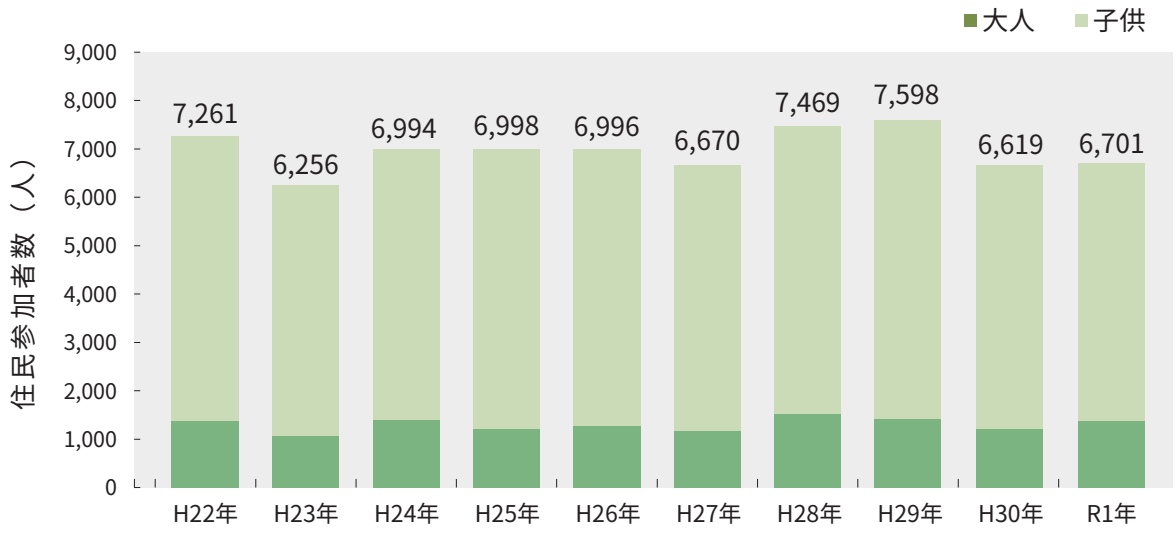
感覚的な水質指標による調査参加者数

令和元年は、小中学生を中心として全国で 6,701 人が参加しました。

参加した住民の声

- 入る前は、川底などがヌルヌルしていると思ったけど、思ったより綺麗だったのでびっくりしました。
- 学校の自由研究の題材にすることができるのでよかった。
- 川の石の裏にいろんな虫がいることがわかった。
- みんなが「きれい！」「泳いでみたい！」と思う川になってほしい。
- これからもみんながゴミを捨てないで綺麗な川を保ってほしい。

【人と河川との豊かなふれあいの確保】



平成 22 年～令和元年の参加者数の推移

参加者数が特に多かった調査地点　BEST5

順位	都道府県	河川名（水系名）/ 調査地点	参加者数
1	愛媛県	重信川（重信川水系）/ 中川原橋	243
2	愛媛県	重信川（重信川水系）/ 出合橋	225
3	北海道	常呂川（常呂川水系）/ 若松橋	213
4	大分県	乙津川（大野川水系）/ 水辺の楽校	208
5	大阪府	大和川（大和川水系）/ 浅香	185

※表中の参加者数は、年間通した延べ人数。年間に複数回の調査を実施した調査地点がある。

感覚的調査

参加者数 BEST5 地点の紹介

感覚的な水質指標による調査において、特に参加者数の多い地点

参加者数 NO 1

調査地点
「中川原橋（ナカガワラハシ）」
重信川水系重信川
（愛媛県）

「中川原橋（重信川水系重信川）」における調査の様子

松山河川国道事務所では、重信川の自然再生に取り組んでいる「重信川の自然をはぐくむ会」（学識者、ＮＰＯ法人、住民、行政で構成）の協力を得て、地域住民と水生生物や水質調査等を行っています。中川原橋では、近隣の松山市立椿中学校の生徒、伊予市立伊予小学校の児童が調査を行いました。松山市立椿中学校については、重信川の自然再生を考える「重信川フォーラム」で、水生生物調査結果を基に重信川水系の水環境について発表しました。

河川の水質がもたらす水生生物生育環境への影響について再認識するとともに、河川環境保全の重要性を考えさせられる良い機会となっています。

「出合橋（重信川水系重信川）」における調査の様子

松山河川国道事務所では、重信川の自然再生に取り組んでいる「重信川の自然をはぐくむ会」（学識者、ＮＰＯ法人、住民、行政で構成）の協力を得て、地域住民と水生生物や水質調査等を行っています。出合橋では、左岸側に位置する松前町立岡田小学校、右岸側に位置する松山市立さくら小学校の児童が調査を行いました。初めて見る生物の姿に驚きの声を上げながら、生物による水質の判定を行いました。水質判定の結果から、水質の保全は日頃から一人一人のこころがけが大切なことだと実感しました。

調査地点
「出合橋（デアイバシ）」
重信川水系重信川
（愛媛県）

参加者数 NO 2

参加者数 NO 3

調査地点
「若松橋（ワカマツバシ）」
常呂川水系常呂川
（北海道）

「若松橋（常呂川水系常呂川）」における調査の様子

北見市の水道水源である常呂川では、北海道北見北斗高校の１年生が理科巡検（野外実習）を毎年行っており、令和元年は２１３名が参加しました。今回もきれいな河川にのみ生息する指標水生生物が多数見られ、簡易水質測定によっても良好な水質ということが確認できました。

また、若松橋の上流２地点でも調査を行い、水生生物や水質の縦断的な変化も把握しました。調査結果からは、人の活動による河川環境への影響も見受けられ、河川環境保全の重要性を認識できる良い機会となりました。

「水辺の学校（大野川水系乙津川）」における調査の様子

大分市立別保小学校の４年生の生徒とともに、大野川の支川である乙津川で調査を行いました。令和元年は川に関する学習の後に、水生生物の採取、簡易水質調査、透視度測定などを行いました（平成２２年度より授業の一環として実施）。生物調査では主に感潮域に生息する生き物を含めて９種類を確認することができました。普段から目にしている河川の水質をより深く理解でき、生き物たちの生息する環境を守るために自分たちに何ができるかを考える良い機会となったようです。

調査地点
「水辺の学校（ミズベガッコウ）」
大野川水系乙津川
（大分県）

参加者数 NO 4

参加者数 NO 5

調査地点
「浅香（アサカ）」
大和川水系大和川
（大阪府）

「浅香（大和川水系大和川）」における調査の様子

大和川に棲む生き物の観察を行うことで、大和川の水環境や水質改善の必要性について学ぶ「やまとがわ水生生物調査」。調査地点の最下流に位置する浅香地点では、大阪市立依羅小学校４年生と堺市立浅香山小学校４年生が参加してくれました。調査の結果、ややきれいな水に生息する生き物 14 種類を含む 24 種類の生き物を見つけることができました。調査の際は、大和川釣り人クラブの方にも協力いただき、採取のコツを教えてもらいました。

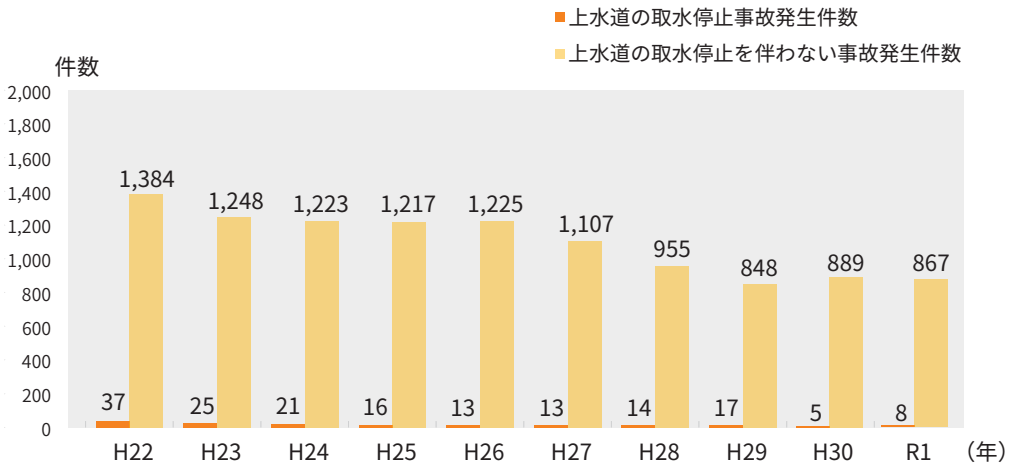
その後、生き物に詳しい先生の解説により生き物の生態や大和川の水質について勉強し、大和川を綺麗にする大切さについて、理解を深めていました。

水質事故等の状況

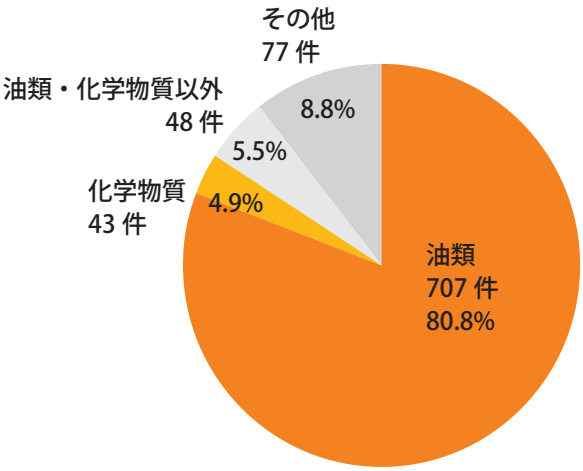
令和元年の水質事故の発生件数は 875 件で、長期的には減少傾向にあります。

水質事故の発生件数は、近年減少傾向にあります。令和元年は平成 30 年と比べ 19 件減りました。事故の内容を原因物質別にみると、油類の流出が全体の約 8 割を占めています。

一級水系においては、水質事故発生時には、河川管理者、利水者、その他関係行政機関等により構成される「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて、速やかに情報の収集、通報・連絡を行うとともに、関係機関との連携のもとにオイルフェンスを設置するなど、被害の拡大防止に努めています。



水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移



合計　875 件（自然現象 16 件を除く）

水質事故の内容（原因物質別）

不法投棄による油流出事故
（写真：関東地方整備局　江戸川河川事務所）

水質事故を防ぐために

水質事故の多くは油類や化学物質によるものであり、工場や農家などで使用される機械の故障・操作ミスや、交通事故、ごみの不法投棄などによって発生します。

ひとたび油類や化学物質が河川へ流出してしまうと、魚などの水生生物に影響を与えるだけでなく、規模によっては河川からの水道用水等の取水が制限されるなど、広範囲にわたって市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあります。

そのため水質事故発生時には、「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて速やかに通報・連絡・情報収集を行うとともに被害の拡大を防止できるよう、日頃より関係機関と共同で訓練等を実施しています

事例

東北地方整備局での事例

北上川下流河川事務所では、河川・湖沼及び水路について、河川水質汚濁対策及び河川環境の保全に関する各関係機関相互の連絡調整を図ることを目的に、２つの協議会（北上川水系水質汚濁対策連絡協議会、江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会）を国・県・市町村・警察・消防・水道企業団で組織しています。

協議会では、水質事故等の連絡調整の他、油漏れ注意喚起の広報、水質事故通報演習、水質事故の実務担当者による意見交換会、水質事故対応講習会、「川をきれいに」をテーマにした児童図画コンクール等を実施しています。

河川での油回収事例
（写真：北上川下流河川事務所）

関東地方整備局での事例

水質事故対応訓練の状況
（写真：常陸河川国道事務所）

関東地方水質汚濁対策連絡協議会那珂川・久慈川部会では、那珂川・久慈川において、関係機関と合同で水質事故対応訓練を実施しています。

那珂川・久慈川水系では毎年 20 件程度の水質事故が発生しています。水質事故の拡散防止は非常に重要であり、ひとたび水質事故が発生した場合、被害を最小限に食い止めるために迅速かつ的確な初動対応が必要です。

訓練では、油の判別、パックテスト、ロープ訓練及びオイルフェンス設置訓練等を実施しています。関係機関ではこのような訓練を通じ、万一の水質事故発生時に備えています。

特集

日本一の清流黒部川（クロベガワ）の扇状地が育む“ 清水（しょうず）”

ー“名水百選”の湧水とともに暮らすー

【黒部川水系黒部川（富山県）】

黒部川と言えば、なんといっても日本一の美しい扇状地です。北アルプスを源とする豊富な水は、黒部峡谷を経て扇状地の地下をゆっくりと流下し、富山湾の近くで再び湧き出します。黒部川の上流から下流まであらゆる場所で“名水仕込み”を作っている人がいます。

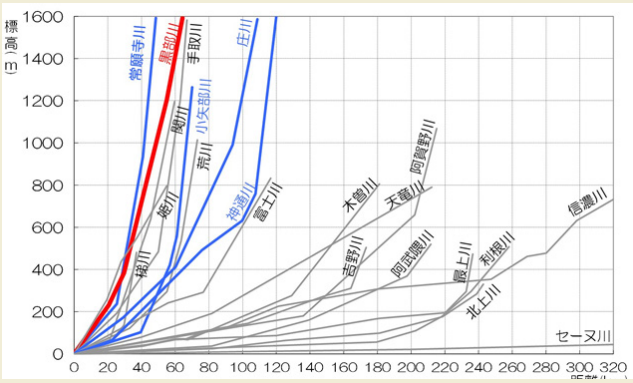
黒部の名水仕込み
地ビール

急流河川黒部川と扇状地

北アルプスの鷲羽岳 (わしばだけ)(2,924m) を源流として富山湾に注ぐ黒部川は、我が国屈指の急流河川です。黒部川流域は日本有数の年間降水量を誇り、山地部の地形が非常に急峻であるため、激しく侵食され続けました。その土砂により下流域には日本一美しいと言われる広大な扇状地が形成されました。

湧水群“ 清水（しょうず）”

黒部川は水に溶けにくい硬い岩の間を流れるため、カルシウムや鉄などの成分が少なく、いわゆる“ 軟水 ”でとても清らかです。この水は扇状地の中で地下水となって浄化されます。地下水は、扇央部では飲料水などの生活用水や工業用水に使われ、扇端部では湧水や自噴水となり、その一部が「黒部川扇状地湧水群」となっています。地元では、名水百選（環境省）にも選定され、人々の生活を潤してきたこの湧水を古来、“ 清水（しょうず）”と呼んでいます。



河床勾配比較図
（青線は富山県内を流れる他の河川）

「杉沢の沢スギ」

杉沢の沢スギは、黒部川扇状地末端部の豊富な湧水地に立地する杉林で、多くは立山杉と考えられています。杉の根元から萌芽した幼苗が多量の積雪によって倒れ、曲がった部分から発根するという非常に珍しい「伏条更新（ふしじょうこうしん）」が見られます。

杉沢は、入善町の海岸沿いに広く分布していましたが、昭和 37 年頃からはじまった圃場整備事業により、そのほとんどが水田に姿を変えました。しかし、杉沢の重要性を知る多くの人々の活動により、現在の杉沢が残されることになり、昭和 48 年には「杉沢の沢スギ」として国指定の天然記念物に指定されました。

周りには整備された木製の遊歩道もあり、小さな川や池、苔のついた木などミステリアスでマイナスイオンたっぷりの観光スポットとなっています。

杉沢の沢スギ（入善町）
（写真：入善町観光物産協会より）

日本一の清流黒部川の扇状地が育む”清水（しょうず）”

宇奈月温泉駅

黒部峡谷鉄道トロッコ電車

“黒部の名水仕込み”がたくさん！

黒部川沿川には、黒部川の水を使って“黒部の名水仕込み○○”を作っている方がたくさんおられます。

中流の宇奈月温泉では、豆乳の香りがほのかに漂うほどよい甘さの「とうふプリン」。下流の生地（いくじ）では、清水で仕込んだ香ばしい醤油や味噌を作る老舗。他にも酒、ビール、かまぼこなど、数えきれないほどの名産品があります。

豆腐屋のご主人
山藤綾（やまふじりょう）さん

豆腐屋さんがつくる黒部川の
名水仕込み「とうふプリン」

深さの違う 2 種類の清水

様々な種類の醤油

黒部の名水仕込み味噌

甘酒も名水仕込み

地域の声　豆腐店

- 宇奈月温泉開湯時に入植してから 90 年以上豆腐を作ってきました。
- 豆腐には“超軟水”がベストと言われています。
- 豆乳を使った「とうふプリン」を作りはじめたのは 10 年ぐらい前からでしょうか。
- 黒部川の水質が日本一と聞いて驚いています。黒部川の水が変わると、真っ先に影響を受けるのはうちなので、黒部川がずっといい川でいてくれるとありがたいですね。

地域の声　醤油味噌店

- 明治の終わりごろから醤油・味噌を作っています。
- 仕込み用に黒部川の湧水を使っています。井戸の深さによって味が違います。深さ 120m から汲み上げる水は 50 年～ 60 年経ったものと言われています。
- 原料の大豆を含めて、地産地消にこだわっています。
- 中越地震（2004 年）の際、水が濁ったことがありましたが、醤油を未来永劫作っていくためには、黒部川の水はずっときれいでいてほしいですね。

月見嶋の清水

黒部市の生地、新治（にいはり）神社の境内にある月見嶋の池に湧き出す湧水があります。かつてこの一帯は「越之湖（こしのこ）」という湖が広がっていました。その後、黒部川などの大洪水により一部は泥や土に埋まってしまいましたが、月見嶋の池はその名残とされています。

現在は、周辺の新緑や紅葉が味わいある風景となっており、絶好の散策スポットとなっています。

月見嶋の清水（黒部市）

黒部川中流の流れと
宇奈月温泉の紅葉（黒部市）

空から見た宮川河口域

伊勢神宮とともに歴史を刻んできた「宮川（ミヤガワ）」

中部地方で一番の清流「宮川」

宮川は、三重県の南部に位置し、その源を三重県と奈良県の県境に位置する日出ヶ岳（標高 1,695m）に発し、大杉渓谷を貫流し、中流山間部を東流し、大内山川等の支川を合わせて伊勢平野に出て、河口付近で大湊川を分派し、その後、伊勢湾に注ぐ幹川流路延長 91km、流域面積 920km^2 の一級河川です。

中部地方を代表するきれいな河川であり、全国で最も水質が良好な河川に何度も選ばれています。

宮川流域ルネッサンス

三重県では流域市町村、国と連携して、清流「宮川」流域の魅力情報を発信するための活動を継続しており、「アメニティあふれるまちづくり優良地方公共団体表彰，平成 14 年（環境省）」などの受賞実績もあります。

宮川流域ルネッサンスの情報発信サイトは、以下をご参照ください。

https://www.miyarune.jp/

「禊川（みそぎかわ）」

宮川は、豊受大神宮（とようけだいじんぐう：伊勢神宮外宮）の禊川（みそぎかわ）であったことから、かつては豊宮川と言われ、「豊」の字を略して宮川の名がついたとされています。古くから神宮と深い関わりをもち、神宮とともに発展してきた川です。

宮川流域には、内宮、外宮をはじめ内宮の別宮として知られる瀧原宮（たきはらのみや）や、離宮院跡、斎宮跡（さいくうあと）などの信仰・神話にまつわる史跡・文化財が数多く見受けらます。

水生生物調査

瀧原宮

宮川堤の桜並木（右岸 6.8k 付近）

霧島連峰

水質改善と観光振興

［九州地方］

大淀川（オオヨドガワ）

大淀川水系

大淀川の水環境

大淀川の水環境は、流域の発展とともに悪化し続け、平成３年には九州の一級河川の中でワースト１位（最も汚れた川）にランクされました。

これを契機に大淀川流域では河川浄化に向けた取り組みを開始し、平成 16 年には流域が一体となって取り組みを加速させる「大淀川清流ルネッサンスⅡ」の行動計画を策定しました（平成 31 年２月に改定）。近年、大淀川の水環境は徐々に改善されてきましたが、さらなる改善を図る必要があります。

大淀川清流ルネッサンスⅡ

大淀川清流ルネッサンスⅡでは、目標年度を 2023 年度とし、BOD、全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数の各水質項目について達成すべき目標と目指すべき目標を設定しています。

そのために必要な施策として、生活排水対策、その他負荷削減策、水辺空間の整備・河川環境の維持、家庭内での対策、啓発活動、環境学習等のハード、ソフトの取り組みを住民、住民団体、学校、事業者、民間機関、行政機関が役割分担して実施することとしています。

焼酎

宮崎牛

関之尾の滝（都城市）

水辺調査の様子

生態系サービスの恩恵を確保する！

私たちの暮らしは、食糧や水の供給、気候の安定など、自然から得られる恵みによって支えられています。これらの恵みを「生態系サービス」と呼びます。水環境が良くなると、生態系サービスにより様々な恵みを得ることができます。

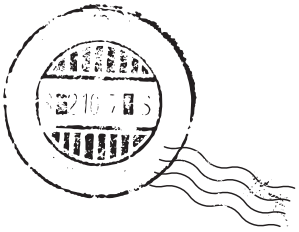
大淀川流域には、おいしい水、お米、お酒、お肉、お茶、魚類等の生息場、観光・レクリエーションなど、とてもたくさんの生態系サービスがあります。水質改善の取り組みをより一層進めることにより、いつまでもこれらの恵みを享受できるようにしたいものです。

水質だより

［北海道地方］

常呂川（トコロガワ）

常呂川水系



オホーツク海に注ぐ常呂川は、道内でも汚濁の進んだ川でしたが、清流ルネッサンス２計画策定を機に流域一体となった水環境改善が図られているだけでなく、次世代を担う子どもたちを中心とした環境学習への関心が高まっています。

常呂川北見左岸の桜並木

常呂川

常呂川は、その源を北海道常呂郡置戸町三国山（1,541m）に発し、山間部を流下、北見盆地を貫流し、常呂平野を経てオホーツク海に注ぐ、幹川流路延長 120km、流域面積 1,930km^2 の一級河川です。

流域は農業、水産業が盛んで、中下流部は農地として明治初期からひらけ、河口沿岸ではホタテの増殖などの漁業が行われており、タマネギや甜菜（てんさい）、ホタテの全国有数の産地となっています。

清流ルネッサンス２

以前の常呂川の水質は、BOD や大腸菌群数が環境基準を超過することが多く、道内でも汚濁の進んだ河川でした。

平成 21 年に「常呂川清流ルネッサンス２」が策定され、国、道、市町、地域住民が連携した取り組みによって、水質改善が着実に進んでいます。

高校生による取り組み

常呂川の水質改善の一助となっているのが、地域住民による常呂川の水質への関心です。

北海道北見北斗高校では、平成 15 年より２年間「北海道サイエンスハイスクール」の指定を受けたことを契機に、理科の授業やクラブ活動による常呂川の水質調査、水生生物調査を行っています。平成 30 年にはこれまでの活動が評価され、環境省の「水・土壌環境保全活動功労者表彰」に北海道で唯一選ばれました。

常呂川花火大会

水生生物調査の様子

水難事故防止

ライジャケ・オン！

ベルトを締め、体をフィットさせることで脱げにくくなる。

股下ベルトがある（子ども用）

ライジャケ・オン・スタイル

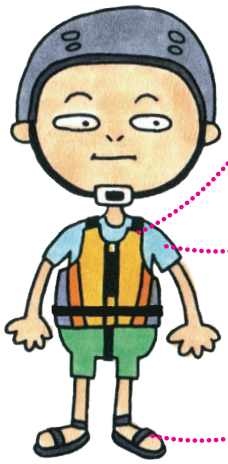
川は楽しい場所ですがリスクもあります。川に入らなくても川岸で足を滑らせて転落することもあります。川での水難事故のほとんどはライフジャケットさえ着ていれば防げた可能性があります。

川で子どもを事故に遭わせないために、そして自分も事故に遭わないように、子どもも大人もライフジャケットを着用することが必要です。

だるまキャラの「山田るま」ちゃんが、ライフジャケットを着て「川田るま」に変身！

水面でも呼吸ができるようにする。

ライフジャケット



体温を奪われないようにする。

乾きやすい服装（水着など）

足を守る。脱げないようにする。

運動靴など

水抜きの穴がある

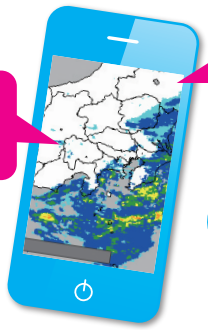
大切な頭を守る。

ヘルメット（あれば）

川で遊ぶ時は、まずチェック！

川の防災情報

提供 国土交通省



左の画面は、東京近郊のレーダー雨量画面です。国土交通省では川の防災情報を携帯電話向けに情報提供しています。

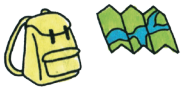
CHECK

川のリアルタイムな情報をチェック！

川に着いたらレーダー雨量や水位を確認しよう！

① 川に行く前にチェック！

- ☑ 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- ☑ バーベキューやキャンプなどでも川に近づく場合はライフジャケットを用意しよう！（大人も子どもも）



② 川に着いたら安全を確認！

- ☑ 川に関する看板があれば確認しよう。
- ☑ 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもから目をはなさないように。（堰付近は川遊びにはキケン・近づかない！）
- ☑ 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況についてつい把握しよう。

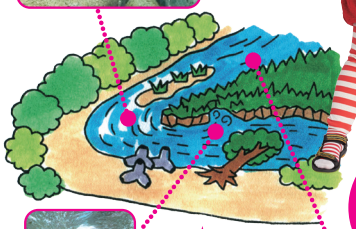
携帯電話で上流の天気が簡単に確認できるよ！

③ 表面は穏やかでも水中は注意！

- ☑ 川には流れがあり、常に変化しているぞ！
- ☑ 一見穏やかに見えても、急に深くなる所や、滑りやすい所があるぞ！
- ☑ 川の事故の約90%は、穏やかな流れや浅瀬で発生しているぞ！

だからライフジャケットが必要なんだぞ！

浅瀬に見えても…中は激流！



穏やかな流れの中は、渦を巻いていることも！

川底は滑り易かったり石につまづいて転びやすい

穏やかな流れに見えても…急に深くなる！滑りやすい！

④ こんな場所は急な増水に注意！

- ☑ 河原は、増水の時は川底になるぞ。特に中州にいると、増水したら取り残されるぞ！

川原に草が生えていない所は、増水時に水が流れていることの「証」

⑤ すぐに避難！

- ☑ 増水の前ぶれや、警報が鳴ったら直ちに避難しよう！すぐに水位が上がってくるぞ！
- ☑ パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

避難の遅れは事故につながるぞ！

増水の前ぶれはこんな時！

1. 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。

※もし誰かが流されたら、浮くもの等を投げよう（子どもは大人を呼ぼう！）。救助する大人が事故に合わないように、大人もライフジャケットを！

MIZBERING
ミズベリング

ミズベリング・プロジェクトとは

かつての賑いを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。ミズベリングは「水辺＋RING（輪）」、「水辺＋R（リノベーション）＋ING（進行形）」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑いを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。

水辺のアクションがもっと増えれば、みんなのまちはもっともっと輝くはずだ。

なにやら、全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。
カフェやテラスができたり、巨大アヒルが浮かんでいたり。
河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが一気に加速してきたみたい。

すでに元気な水辺の都市もあるけれど、
まだまだ水辺をとりいれてワクワクできる環境づくり、まちづくりはできるはず。

そこでミズベリング・プロジェクト、開始。
ミズベリング（MIZBERING）とは「水辺＋リング（輪）」の造語であると同時に常に現在進行形 "ING" の気持ちで、水辺とまちが一体になった美しい景観を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード。

みんなのアイデアとアクションが集まれば、日本の水辺は、きっと世界がうらやむ楽しくて素敵なまちになるはずだ。

ミズベリング･プロジェクト事務局
mizbering.jp

ミズベリングの先進事例に学べ

1 「水都大阪」

「水都大阪」という、「水の都」としての大阪を復活させるプロジェクトをご存じだろうか？ 2011年から2020年までの長期プロジェクトで、「水都大阪　水と光のまちづくり構想」を掲げ、関西全体を元気にする「大阪の都市力の向上」を目標にしている。構想策定から10年間、水と光のまちづくりの取組みを推進するにあたり、市民･地域･NPO･行政等との連携をさらに強化。オール大阪で水辺の利用促進に励んでいる。

©千鳥土地株式会社

2 「水の都ひろしま」

広島市はまちの中心部を6本の川が流れている「水の都」。その恵まれた水辺を都市づくりに活かすべく、戦後間もない頃から水辺を緑地として整備してきた。今では延長25kmもの緑豊かな河岸緑地となり、美しい水辺が形成されている。水辺をもっと市民に使ってもらうため、市民と国･県･市の協働で「水の都ひろしま」構想（2003年）を策定。「水辺のオープンカフェ」や「水辺のコンサート」を開催、水辺での市民活動の促進、水上交通の活性化の推進などを行い、河川空間における市民や民間事業者の多様な活用が進んでいる。

令和元年全国一級河川の水質現況
Recent Conditions of water quality of Class A rivers in Japan 2019
令和２年７月発行
●編集発行：国土交通省　水管理・国土保全局　河川環境課
〒100-8918　東京都千代田区霞が関2-1-3　Tel. 03-5253-8111（代表）